

2021年度 入学者受入れの方針（AP）に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証 ＜福祉行政学科＞

2021年度の在籍生に対してマイステップ「学びの振り返り」を実施し、各項目についての評価点を集計・分析した。項目名とガイドライン、および評価点は以下の通りである。

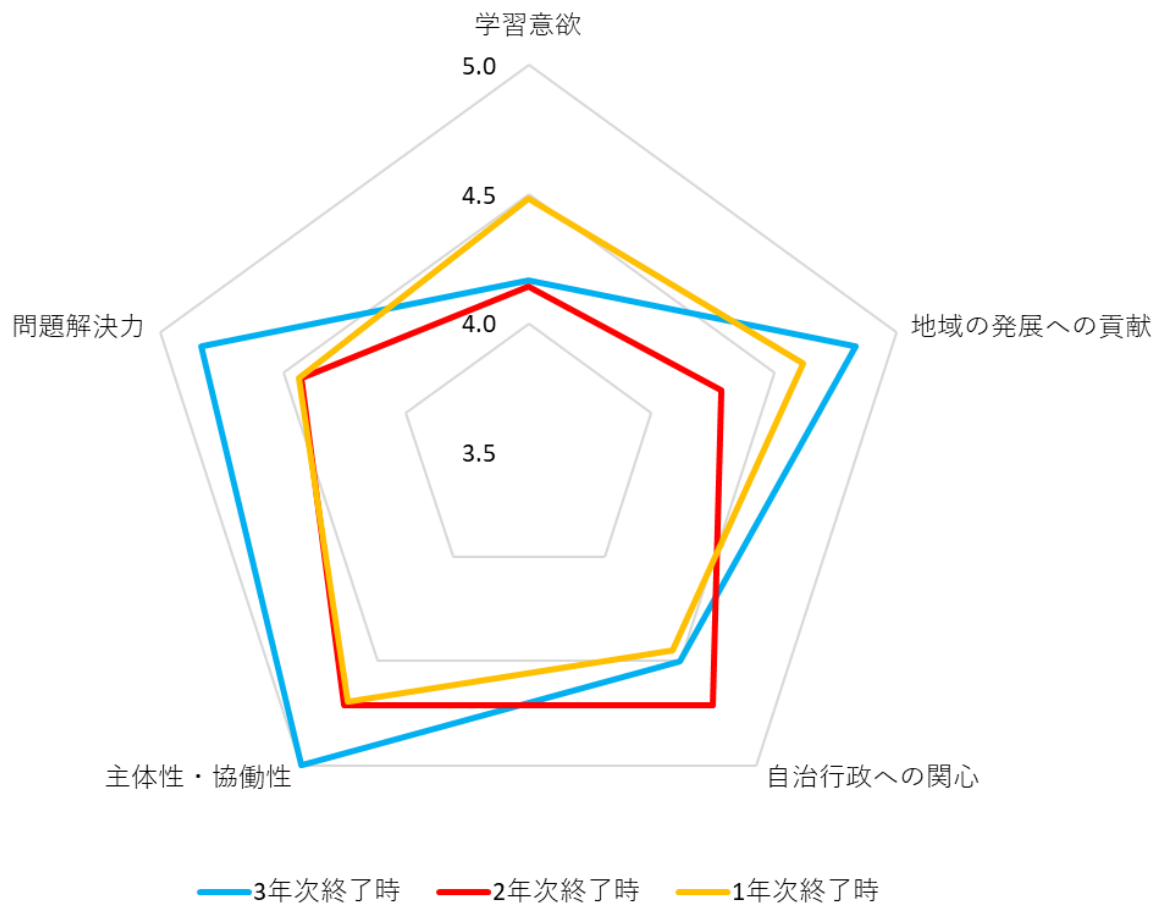
C03.FQ.学びの志ふり返り（学科 入学者受け入れの方針）

NO	項目名	ガイドライン
1	学習意欲	社会福祉、環境・都市問題に関し深く学びたい。
2	地域の発展への貢献	地域自治や地域社会に関心をもち、地域の発展に寄与したい。
3	自治行政への関心	自治行政について深く追究したい。
4	主体性・協働性	主体性をもって人びととともに学びたい。
5	問題解決力	「福祉」と「行政」の観点から考察し、問題を解決できるようになりたい。

0：全くそう思わない	1：そう思わない	2：あまりそう思わない
3：ややそう思う	4：そう思う	5：非常にそう思う

3年生6名、2年生7名、1年生56名から回答があった。各項目の評価点の平均値を学年別にレーダーチャートにプロットしたのが下のグラフである。差異を見やすくするために、グラフ上では評価点のレンジを3.5－5.0とした。

4年生からの回答が無いなど、検証が難しい側面があるが、すべての項目の評価点は学年を問わず4.0以上であり、取組は概ね適切に行われたと考えられる。項目によっては学年進行に伴って評価が高くなるわけではなく、学年によるカリキュラムの力点の違いが示唆された。特に、学習意欲については、初年次が最も高いという結果となった。



調査実施時期	学習意欲	地域の発展への貢献	自治行政への関心	主体性・協働性	問題解決力
3年次終了時	4.2	4.8	4.5	5.0	4.8
2年次終了時	4.1	4.3	4.7	4.7	4.4
1年次終了時	4.5	4.6	4.4	4.7	4.4

その他、自由記載として、1年生より「講義・ゼミを中心に学びを広げたが、2年次では講義以外からの学びの場を広げたい」「効率よく学びたい」旨のコメントが寄せられた。